

参議院常任委員会調査室・特別調査室

論題	余白
著者 / 所属	清野 和彦 / 国土交通委員会調査室
雑誌名 / ISSN	立法と調査 / 0915-1338
編集・発行	参議院事務局企画調整室
通号	469号
刊行日	2024-9-20
頁	奥付
URL	https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/rip_pou_chousa/backnumber/20240920.html

※ 本文中の意見にわたる部分は、執筆者個人の見解です。

※ 本稿を転載する場合には、事前に参議院事務局企画調整室までご連絡ください (TEL 03-3581-3111 (内線 75020) / 03-5521-7686 (直通))。

余白									
				清野和彦					

前回は、「理想の仕事」に関する意識調査結果を紹介した。そこでは「仲間と楽しく働ける仕事」や、職場の同僚との「なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい」が最も多く選ばれていた。

ここで、興味深い研究をもう1つ紹介しよう。国際比較調査に基づき日本の雇用者の仕事を分析した明日山（2023）は、その主な特徴として、①他者と一緒に働く機会が多いにもかかわらず、情報共有、同僚・上司からの学び、指導・アドバイスといった相互の学びは少なく、他人の業務を計画、説得・感化といった積極的な他者との関わりが希薄であり、職場の人間関係や自身の仕事の社会的意義に対する評価が低い、②一般的な情報収集・学びは盛んだが、実際の仕事を通じた学びや成長機会、スキルを有効活用する機会は少ない、③書類記入や報告書作成タスクの頻度が高い、という3点を挙げた上で、こういった特徴ゆえに我が国においては、仕事の面白さや起業率が他の高所得国と比べて低くなっているとの考えを示している。

しかしながら、シンプルに「人間関係をよくしましょう」でいい職場になるというようなものではないだろう。「裏表紙の裏」の余白が埋まってしまったので、次号以降でさらに考えていきたい。

〔参考〕明日山陽子（2023）「国際比較から見える日本のジョブの特徴」『日本労働研究雑誌』第65巻第6号

本誌企画委員長（国土交通委員会調査室）

●編集後記● AIに編集後記を書いてほしいと頼んだら、瞬時に文章を生成してもらえます。そんなご時世ですが、本誌は引き続きオリジナリティに富んだ論文・解説等のタイムリーな掲載を目指します。調査員はAIに負けないよう、原稿の質向上に努める所存です。〔狸〕

次号予告 特集「脱炭素をめぐる諸課題」（令和6年11月1日）

- 本誌の掲載論文等の意見にわたる部分は執筆者個人の見解です。
- 本誌の掲載論文等を転載する場合には、事前に参議院事務局企画調整室までご連絡ください。
- 本誌の掲載論文等は、参議院ホームページ<www.sangiin.go.jp>及びイントラネットの「立法調査情報」でもご覧いただけます。
- 本誌のバックナンバーは、右記QRコードからご参照ください。



立法と調査 No.469

令和6年9月20日 発行

編集・発行 参議院事務局企画調整室

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-16
参議院第二別館内

TEL 03-3581-3111（内線75020）
03-5521-7686（直通）